



エコ教室 どんどん充実してきています！

年4回のまちなかエコ市場、新天町こどもまつり、うべまつり、ごきげん未来フェスタ、ときわサマーフェスタなどの催しの際に実施するエコ教室に、うべ環境コミュニティが本気で取り組んでいます。従来はうべ環境コミュニティのパネル展示とか環境関連のビデオ放映などを行ってきました。また、エコ教室は開催してもそれほど多くの参加者がいるわけではありませんでした。平成28年度から環境省の協働取組加速化事業が開始され、本年度も引き続き事業が継続されています。この事業の教材作成費を活用して、色々なエコ教室のプログラムと教材を作り、実際にエコ教室の充実に使っています。平成28年度から現在までのエコ教室の実績を表に示します。

	H28年度	H29年度
新天町こどもまつり(5月)	9	60
エコ市場(6月)	20	61
ときわサマーフェスタ(8月)	-	105
エコ市場(9月)	-	59
うべまつり(11月)	76	
ごきげん未来フェスタ(11月)	70	
エコ市場(12月)	20	
エコ市場(3月)	45	
合計	240	285

このPOPを目印にお越しください！

うべ環境コミュニティ
エコ教室開催中
わかりやすいお話を聞いて、自家の環境をみつめて体験しよう！

学んでゲット！
エコハ券

2枚進呈！



エコ教室開催予定

- ◇ごきげん未来フェスタ
10月14日(土)
ときわ湖水ホール周辺
- ◇うべまつり
11月5日(日)
新天町アーケード内

毎回、まちなか環境学習館職員をはじめ多くのボランティアの方々に、参加者の呼び込み協力をお願いしています。そのお陰もあって参加者数は着実に増えてきており、エコ教室の内容の充実を反映した形になっています。最近のエコ教室(9月9日)のプログラムは、①うんこはえらい(浮田)、②いろいろな内容の環境紙芝居(山根)、③きれいな水を飲もう(薄井)、④家庭の省エネルギー(津島・薄井)でした。その他にも⑤ごみって、なに？(浮田)、⑥エネルギーってなんでしよう(薄井)、水をろ過する実験をするよ(宇部市上下水道局)などの内容が揃えられています。参加者の顔ぶれを見て臨機応変に難易度を調整しますので、子ども達から大人までどなたでも参加いただけるのが特徴です。

今後も環境教育の一環として、エコ教室を盛り上げていきますので、市民の皆様は積極的に参加していただくよう、お願いいたします。

(まちなか環境学習館 薄井 洋基)

10月の環境サロン

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、皆で気軽に学び語りあえる場です。どなたでもご参加頂けます。

参加費 200円(資料代) 高校生以下無料
(宇部市環境地域通貨 100エコハ進呈)

第7回

「環境新ビジネスへの挑戦」

栗原 和実さん ((株)アースクリエイティブ代表取締役)
日時:10月13日(金)18:00~20:00
場所:まちなか環境学習館

食品残渣の飼料化や、廃食油のバイオジーゼル燃料化など、幅広くリサイクル事業を行い、新たにバイオガス化や、インドネシアでの浄化槽管理指導などに果敢に挑戦する企業の経営理念などについてお話を伺い、今後の環境ビジネスの可能性について議論します。

第8回

「子ども達に大切な自然体験

～身近な自然の変化から感じること～

山根 幹男さん (厚東川中学校学校運営協議会委員・元校長)
日時:10月25日(水)18:00~20:00
場所:まちなか環境学習館

こどもの頃に比較して身近な自然がどう変化してきたかについて、お話をお聞きし、農業や自然の中での体験学習などを通して、コミュニティスクールを充実させるため、必要な地域の人材発掘や体制づくりをどう進めたらいいのか考えます。

まちなかおそうじ隊募集！

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじの後には、お茶会でホッとひと息♪

10月29日(日)
15:00~
学習館前に集合！

おそうじ隊参加者には環境地域通貨エコハ2枚進呈！

まちなかイベント情報

まちなかアートフェスタ

MACHINAKA 【アーティスト・イン・レジデンス】

中央銀天街の空き店舗で、作家が2週間以上、宇部市の「まちなか」に滞在しながら作品制作を行い、市民と交流するアーティストトーク、ワークショップ、成果(作品)発表を行います。

作家 黒田大祐
タイトル 「宇部に吹く風、商店街に聞く」
期間 10月1日(日)~15日(日)

制作中の作家さんとふれあうチャンス！銀天街にお越しください！



宇部市環境学習ポータルサイト

「うべくる」

うべくる

検索

<http://www.ubekuru.com/kuru.com>



非営利株式会社 市民共同発電うべ ～ 発電を開始しました ～

あなたが創る(エネルギーの未来・うべの未来)をキャッチフレーズとし、①環境にやさしくかつ持続可能なエネルギーの普及・促進 ②地域の活性化 ③里山・里海の再生などを目的として、宇部市の環境団体(うべ環境コミュニティー、宇部市環境衛生連合会、宇部市地球温暖化対策ネットワーク)の有志を中心に平成28年10月26日、資本金468万円で設立、その後増資し資本金981万円とした「非営利株式会社 市民共同発電うべ」が平成29年8月28日ついに発電を開始しました。



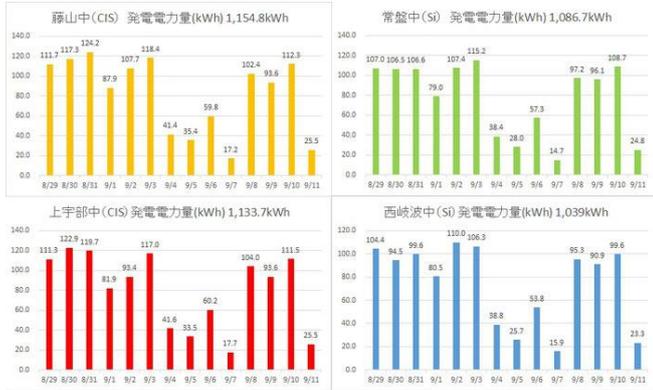
学校体育館屋根に太陽光パネル設置(2017年8月)

宇部市の小中学校4校の体育館の屋根を借用して太陽光パネルを設置し、発電規模は合わせて約80KWです。資金調達などで、ご支援・協力いただいた多くの市民の皆様へ厚くお礼申し上げます。

まだほんの一步ですが、すでに宇部市に採択されている小中学校体育館3校をはじめ、順次発電量を増加させます。当事業は、発電量、売電及びその売電価格という事業リスクは比較的小さいと考えており、今後事業を積極的に拡大したいと考えています。

今後の事業展開にあたり、資金調達や良好な発電所設置屋根の確保等で多くの皆様のご理解、ご支援を必要としています。ご協力よろしくお願いたします。

市民共同発電うべ 津島 榮



各学校発電所の合計発電量 (2017年9月12日)

◇◇ まちなか



コラム ◇◇



『コミュニティスクールとは?』

コミュニティスクールは『地域と共に成長する学校』、『地域が育てる学校』をいいます。

山口県は29年度、小・中学校にコミュニティスクールを導入しました。

さて、コミュニティスクールの一番のねらいは、子どもたちの「学力向上」です。今、学校は子どもたちの学習の場としてだけでなく、地域の皆さんとの学習の場へと変わろうとしています。数年前までの「詰め込む」学習では子ども達の変容はみられません。そこで「アクティブ・ラーニング(コミュニケーション能力を向上させ、使える学習)」に舵を切ったのです。

さらに、学校は地域貢献活動を通して「地域の核」になるようとしています。地域の方を学校にお呼びする、逆に学校が地域に出ていくなど方法はさまざまです。学校が地域と一体となることは、子どもたちの地域を敬い愛する心につながります。また、地域も子どもたちのやる気や学校の本気度が伝わることで、学校との温度差が縮まり、理解が進むことで、地域に戻った子どもたちを見守る目が変わるのです。



[クラブ活動 (フラワーアレンジメント)]



[昼休みの読み聞かせ会]

このように、子どもたちが地域においても認められることは安心感や安定感につながるのです。

ところで学校は校務の多忙化が進んでいます。さらに家庭問題への対処、保護者の対応等に追われ、先生が最も集中して取り組まなければいけない教材研究がおろそかになりかけています。そこで、子どもたちの成長を保障するため、学校は多くの地域人材を発掘し、活用することが求められているのです。このことを通して学校、家庭、地域が一体となり、子どもたちに「生きる力」を備えさせ「学力向上」につなげていくことがコミュニティスクールの目的だと考えています。

上宇部ふれあいセンター 赤田博夫



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)